

●クラッチの点検

《レバールの遊び》

抵抗を感じるまで、手でクラッチレバールを引き、レバール先端の遊びの量が規定の範囲内にあるかをスケールなどで点検します。

《クラッチの作用》

- ・アイドリング状態で、クラッチレバールをいっぱいに引いたとき異音がないか、異常に重くないかを点検します。
- ・クラッチレバールを徐々に離して発進したとき滑りがなく、接続が滑らかであることを点検します。

